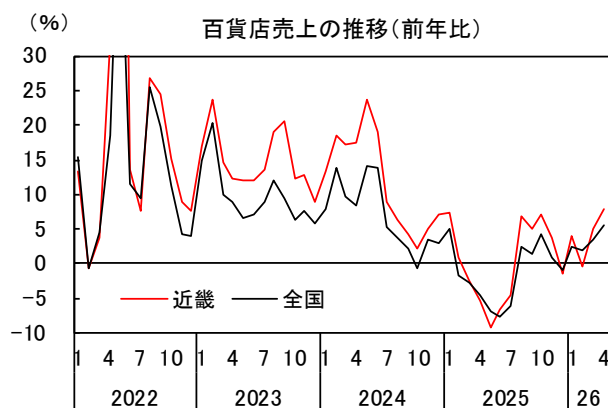
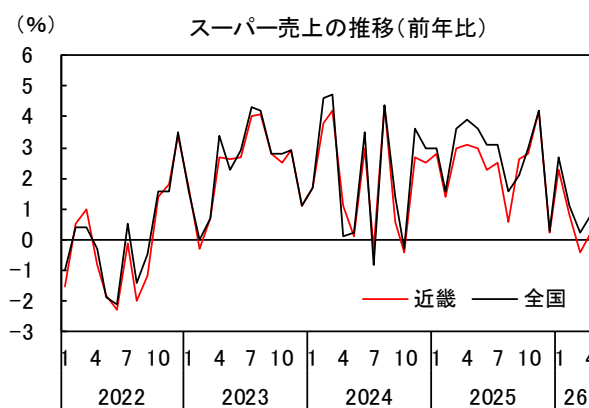


関西の景気トピックス【消費関連（26年4月）】

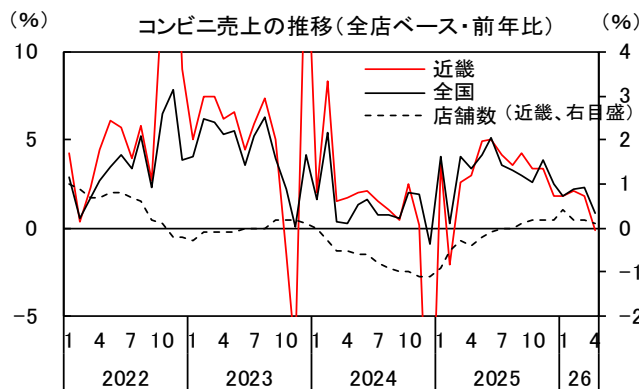
- 26年4月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス7.8%と2か月連続の増加となった。中国の渡航自粛は続いているものの、前年が円高の進行等で売上が悪化した反動もあり、今年は好調な動きとなった。一方、スーパー売上の4月は前年比プラス0.2%と2か月ぶりに前年を上回ったものの、消費者の節約志向などを背景に低調な動きが続いている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、4月は全店ベースで前年比マイナス0.1%と14か月ぶりの減少となった。インバウンド消費の鈍化も一因となり、売上に減速圧力がかかったものとみられる。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の4月は、前年比マイナス11.9%と4か月連続の減少となった（3か月移動平均）。基調として弱い動きが続いている。
- 各業界の売上には前年を上回る動きもみられるものの、インバウンド消費が力強さを欠く中、全体的に鈍い動きとなっている。街角景気も低調な推移が続くなど、消費を取り巻く環境は楽観できない状況となっている。



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」